



札幌国際芸術祭 SIAFスクール 令和8年度 出前授業の実施校を募集します!



プログラミングで
アートにチャレンジ

対象:小学3年生~中学3年生

おすすめ
教科 小学生:図工・算数・理科・総合
中学生:美術・数学・理科・技術・総合



こんな学校
あったらいいな
-ペンタブレットを使って
学校を変身させよう-

対象:小学4年生~中学3年生

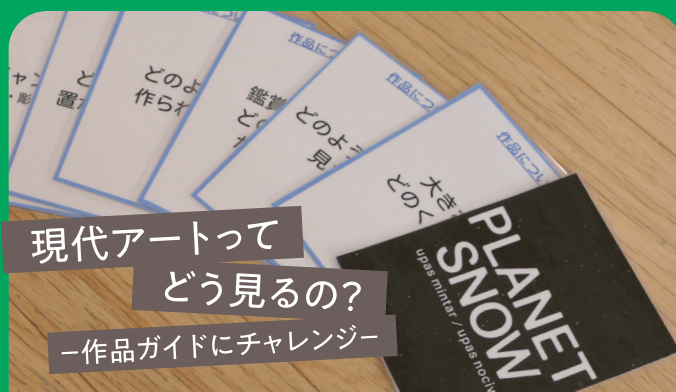
おすすめ
教科 小学生:図工・総合(キャリア教育等)
中学生:美術・技術・総合(キャリア教育等)



AIとARで
札幌の自然を再発見する
ワークショップ
-いきものの記憶と記録-

対象:小学5年生~中学3年生

おすすめ
教科 小学生:図工・理科・総合
中学生:美術・理科・技術・総合



現代アートって
どう見るの?
-作品ガイドにチャレンジ-

対象:小学4年生~中学3年生

おすすめ
教科 小学生:図工・総合
中学生:美術・総合



札幌国際芸術祭(Sapporo International Art Festival 略称: SIAF^{サイアフ})では、芸術祭を「未来の学校」と位置付け、アーティストや研究者、教育関係者、専門家などを交えた様々なプログラム「SIAFスクール」を展開しています。その一環として、札幌市内の小中学校の児童・生徒を対象に、SIAF事務局とアーティストや連携企業が協働して作り上げた「出前授業」を実施します。表現の第一線で活動するアーティストの視点や、企業の技術・知見に触れることで、子どもたちの探究心や創造性をより多角的に引き出す一助となれば幸いです。複数のプログラムを用意しておりますので、ぜひご検討ください。ご応募をお待ちしています。

応募期間:2026年5月12日(火)~6月9日(火)

募集プログラム①

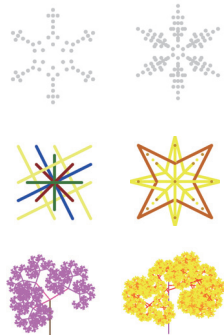
プログラミングでアートにチャレンジ

- ①-1「自分だけの雪の結晶を制作しよう」
- ①-2「自分だけの煌めきを作ろう みんなの夜空を作ろう」
- ①-3「自分だけの木を制作しよう」

【対象学年】

	プログラム名	対象学年
①-1	自分だけの雪の結晶を制作しよう	小学3年生～5年生
①-2	自分だけの煌めきを作ろう みんなの夜空を作ろう	小学3年生～5年生
①-3	自分だけの木を制作しよう	小学6年生～中学3年生

アーティストのフジ森が開発した、小中学生でも簡単に扱えるテキストプログラミングのウェブアプリケーションを活用したワークショップです。「雪の結晶」、「星の瞬き」、「木」という身近な自然環境や暮らしの中にあるものを題材に、題材そのものについての学びを深めた後、プログラミングで図形制作を行います。



ね ら い

雪や星、木の構造を学び新たな発見を得るとともに、JavaScriptでのプログラミングを通じてデジタルの基礎に触れます。コンピュータとの対話を通じ、論理的思考力を養うプロセスを体験します。

所 要 時 間

90分(授業2コマ分程度)

お すす め の 教 科

小学生/図工、算数、理科、総合
中学生/美術、数学、理科、技術、総合

授 業 の 流 れ

1時間目:札幌国際芸術祭(SIAF)の紹介
題材に関するミニレクチャー
プログラミングに関するレクチャー
2時間目:プログラミングに挑戦
出来上がった成果の共有

講 師

札幌国際芸術祭スタッフ

※一度の実施人数は最大60名程度までとなります。
※児童生徒のICT端末(Chromebook)を使用します。

参考映像をこちらからご覧いただけます



【プログラム制作パートナー】フジ森(アートユニット)



札幌を拠点に活動する藤木淳・寛子夫妻によるアートユニット。淳がインタラクティブ設計、寛子がビジュアル構成を担い、鑑賞者参加型の作品を展開する。2014年の共作を経て19年に「フジ森」結成。SIAFとの出前授業も手掛け、子供たちの成果を昇華させた作品をSIAF2024やさっぽろ雪まつりで発表している。

協力:北海道大学 名誉教授 古川義純/札幌市博物館活動センター

募集プログラム②

こんな学校あったらいいな

—ペンタブレットを使って学校を変身させよう—

【対象学年】 小学4年生～中学3年生

「こんな学校あったらいいな」をテーマに、見慣れた学校の中を撮影し、最新のペンタブレットとアニメーションの技法を活用しながらアート作品へと昇華させるワークショップです。自分の内面から湧き上がる、言葉にできない微細な感覚を大切にしながら作品を制作し、グループで鑑賞・対話します。「生きることそのもの」にも通じる、アートのプロセスを体験します。



ね ら い

デジタル技術を「自分の表現を豊かにする相棒」として使いこなし、自分の内面と丁寧に向き合う姿勢を養います。表現と鑑賞・対話を通じて、創作が他者や社会への「ギフト」になる喜びを学び、これからの社会やビジネスにも資する豊かな創造性を刺激します。

所 要 時 間

90分(授業2コマ分程度)

お すす め の 教 科

小学生/図工、総合(キャリア教育等)
中学生/美術、技術、総合(キャリア教育等)

授 業 の 流 れ

1時間目:札幌国際芸術祭(SIAF)の紹介
プログラムの紹介
校内の撮影
写真の共有とグループ対話
2時間目:タブレットによる加工・表現
完成作品のグループ共有・鑑賞・対話

講 師

株式会社ワコム、佐竹真紀(映像作家)、
札幌国際芸術祭スタッフ

※一度の実施人数は最大35名程度までとなります。

【プログラム制作パートナー】株式会社ワコム



デジタルペンの技術で「描く」体験を届けるテクノロジー・リーダーシップ・カンパニー。日本発のペンタブレット製品は、多くの国と地域で、映画制作やデザインのプロ、公共施設まで幅広く活用されている。SIAF2024ではイニシアティブ・パートナーとして展示を開催。2025年度からは「SIAF出前授業」に参画し、子どもたちがデジタル技術に触れ、その創造性を育む機会を継続的に提供している。

【プログラム制作パートナー】佐竹真紀(映像作家)



札幌在住の映像作家。写真を使ったアニメーションを中心に制作。「記録」と「記憶」の狭間にある世界を探究している。2016年ドイツドレスデン国際短編映画祭にて写真アニメーションのワークショップ講師。2018年ドイツ31.Stuttgarter FilmwinterにてThe 2 inutes Short Film Award審査員。VOCA展2016/佳作賞、新千歳空港国際アニメーション映画祭2017/北海道知事賞等。

AIとAR(※1)で札幌の自然を再発見するワークショップ

—いきものの記憶と記録—

【対象学年】 小学5年生～中学3年生

最新テクノロジーを用いて地域の生きものや、その生態を詳しくリサーチします。その後、XRプラットフォーム「STYLY」を活用し、調査で得た知見をもとに3D素材やエフェクトを駆使してデジタル空間に再現。完成したAR作品を実際の街のマップ上に配置することで、地域の自然環境を可視化し、デジタルと自然が融合した新しい視点での学びを体験します。



【プログラム制作パートナー】 ゴッドスコピオン(メディアアーティスト)



主に形而上学や宗教哲学、テクノロジーを題材に、時間軸と空間軸のフレームの変化をテーマにした作品を制作。作品は都市や屋外、屋内、身体といった様々な空間で展開され、XR技術を利用したマルチメディア、横断的な作品を手がける。XRプラットフォーム『STYLY』を提供するSTYLY, Inc.のファウンダーメンバー/シニアアートディレクター。

ね ら い

最新技術を「思考やアイデアを形にする道具」として使いこなし、身近な生きものの生態を深く知ることで、地域への愛着と知的好奇心を育みます。デジタルと現実を重ね合わせる創作工程を通じ、空間的な想像力を養うとともに、いつもの風景を多角的な視点で捉え直す新しい感性を磨きます。

所 要 時 間

事前レクチャー45分
+ワークショップ90分(計授業3コマ程度)

※事前レクチャーはワークショップ当日以外の日に設定可能です
※事前レクチャーは屋外に出る場合もあります。

お すす め の 教 科

小学生/図工・理科・総合
中学生/美術・理科・技術・総合

授 業 の 流 れ

【事前レクチャー】
・札幌国際芸術祭(SIAF)の紹介
・地域の生きものリサーチ

【ワークショップ】

1時間目:リサーチで見つけた生きものや状況を

「STYLY」を使ってデジタル空間上に再現

2時間目:出来上がったAR作品を

実際の札幌の街のマップ上に配置

作品の共有

講 師

ゴッドスコピオン(メディアアーティスト)、
札幌国際芸術祭スタッフ

※一度の実施人数は最大30名程度までとなります。

※児童生徒のICT端末(Chromebook)を使用します。

(※1)…スマートフォン等のカメラを通して現実の風景にデジタルデータを重ね合わせる技術のこと。

現代アートってどうみるの? —作品ガイドにチャレンジ!—

【対象学年】 小学4年生～中学3年生

「つくる」だけでなく「みる」楽しさに焦点を当てた、札幌国際芸術祭による鑑賞教育プログラムです。SIAFオリジナルの「鑑賞サポートカード」を活用して作品の見方を直感的に学び、クラスメイトとの対話で多様な視点を広げます。その後、子どもたちが自分なりの言葉で作品の魅力を他者に伝える「作品ガイド」に挑戦します。



ね ら い

カードが投げかける問いをヒントに作品を鑑賞することで、新しい気づきや発見を得ることができます。加えて、そこで得た知見を「作品ガイド」としてアウトプットする活動により、相手に伝わる表現力や言語化能力を養い、自分の考えを自信を持って発信する力を育てます。

所 要 時 間

90分(授業2コマ分程度)

お すす め の 教 科

小学生/図工、総合
中学生/美術、総合

授 業 の 流 れ

1時間目:札幌国際芸術祭(SIAF)の紹介
自分の好きなものを紹介するワーク
作品の見方を学ぼう

2時間目:作品を調べてみよう

調べた作品を紹介しよう(練習)

ミニ発表会

講 師

札幌国際芸術祭スタッフ

※一度の実施人数は最大40名程度までとなります。

※児童生徒のICT端末(Chromebook)を使用します。

応募期間:5月12日(火)～6月9日(火) 実施期間:7月10日(金)～11月27日(金)

※募集プログラム①のみ7月10日(金)～10月30日(金)

募集校数:各プログラム5校程度

※応募校多数の場合は、選考とさせていただきます。

各プログラムの応募から実施までの流れ

- ① 応募用紙を札幌国際芸術祭実行委員会事務局にメールで送付してください。
(宛先:operation@siaf.jp) ※6月9日(火)締切
- ② 事務局から学校にご連絡し、打ち合わせの日程を決めます。
- ③ 実施内容や実施日などの詳細を打ち合わせます。
- ④ 日程を調整し、実施日を確定させて学校にご連絡します。
- ⑤ 出前授業実施

※応募校多数の場合は、選考とさせていただきます。

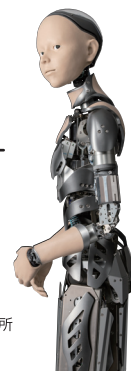
札幌国際芸術祭について

札幌国際芸術祭(Sapporo International Art Festival 略称: SIAF^{サイアフ})は公共施設や公園、地下空間など様々な場所で開催される、3年に一度の国際的なアートイベントです。絵画や彫刻だけではなく、映像や空間全体を使った作品、プログラミングやAI(人工知能)などのテクノロジーを使った作品、身近な素材で新しい風景を生み出す作品など、さまざまな作品を紹介しています。

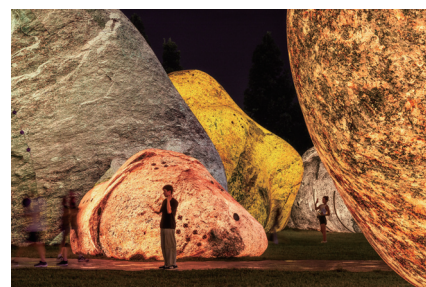
次回芸術祭・SIAF2027は「PLANET SNOW」をテーマに、札幌をひとつの星に見立てそこに暮らす人類の営みや歴史文化、そして未来の在り方を考えます。

会期:2027年1月16日(土)~2月21日(日)

会場:札幌市民ギャラリーなど、札幌市内10会場を中心に開催



石黒 浩/いのちの未来研究所
《ヤマトロイド》
©FUTURE OF LIFE



ENESS《Iwagumi Air Scape》 Photo by Finbarr FALLON

教育喫茶

「SIAFスクール」の一環として実施している「教育喫茶」は、教育に関わる先生や学生、アーティストなどが集い、教育とアートに関する課題や可能性を話し合う場として、2ヶ月に1回程度活動しています。実験的なプログラムを作ったり、体験したりする中で、学校と芸術祭が「これからの教育」を共に考え、創造するプラットフォームとして機能していくことを目指しています。「教育喫茶」では随時参加者を募集しています。ご興味のある方は下記[お問い合わせ]メールアドレスまでご連絡ください。



●主な取り組み

定期的なミーティングの実施 新しい教育プログラムの開発 ワークショップやトークイベント等の企画、実施など

SIAF2027 教育喫茶アドバイザー: 佐藤 祈(南幌町立南幌中学校)、中里彰吾(札幌市立豊平小学校)

主催:札幌国際芸術祭実行委員会/札幌市

助成:  令和8年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

一般財団法人地域創造

お問い合わせ先:

札幌国際芸術祭実行委員会事務局

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目1番地 札幌時計台ビル10階

TEL:011-211-2314 E-mail:operation@siaf.jp